

救命の手順

新しい日本版救急蘇生ガイドライン (2005年) 対応



1 肩をたたく 意識の確認

119番を!!
AEDを!

2 助けを呼ぶ

1. 意識の確認

『大丈夫ですか』など、3回呼びかける
肩(鎖骨のあたり)を叩き、痛み刺激を行う

2. 救急車、AEDの依頼

『誰か、来て下さい!』大きな声で応援を呼び、
周りの人に『119番で救急車の手配をお願いします』
『AEDを持ってきて下さい』と依頼する

3 呼吸の確認

あごを上げ、口元に頬を寄せ、
呼吸の確認をします



呼吸がなければ、
2回の人工呼吸
※空気が逃げないように、
鼻をつまみましょう

3. 気道確保、呼吸の確認

頭部後屈—あご先挙上を行い気道確保を行う

傷病者の口と鼻に耳を近づけ、

普段どおりの呼吸であるか確認をする(5~10秒以内)

医療従事者は脈拍も確認する

<呼吸の確認>

- ①胸部の上下運動を「見る」
- ②呼吸があるのか音で「聞く」
- ③頬で息を「感じる」

4. 2回の人工呼吸 (省略可能)

気道確保を行い、鼻をつまんでゆっくりと(1秒かけて)
2回息を吹き込む。

5 30回の胸骨圧迫

胸が4~5cm沈む程度の強さで、
1分間に約100回のテンポで押します



5. 胸骨圧迫、人工呼吸

- ①服を脱がせ、乳首と乳首の間に手のひらの付け根を置く
- ②1分間に100回のリズムで30回胸骨圧迫を行う
(4~5cmの深さで圧迫)
- ③気道を確保し、ゆっくりと2回人工呼吸を行う(1回に1秒)
- ④30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸を5セット行う(約2分間)



6 AEDで電気ショック
※傷病者から離れましょう

6. AEDが到着しだい、AEDを使用

- ①ふたを開ける (電源を入れる)
- ②電極を貼る (右の鎖骨の下と左の脇腹)
- ③電気ショックが必要な場合は、放電ボタンを押す

こんなときにはAED!!

●意識がない

●呼吸がない

●脈拍なし（医療従事者のみ）

重要

使う前には
ここをチェック!

① ふたを開けると、電源ON!



「意識・呼吸を確認してください。
胸を裸にして、AEDのふたから
四角い袋を取り出してください。
袋を破いてパッドを取り出してください。
パッドの一つをシートから剥がして、
図のように右胸に貼ってください。
もう一つのパッドをシートから剥がして、
左わき腹に貼ってください。」



② 電極パッドを体に貼ります。

左右どちらでもOK。



電極パッドを貼ると、
自動的に心電図の解析を開始します。
あとは器械(AED)の音声の指示に従って下さい。

「体に触らないでください。
心電図を調べています。」

電気ショックが必要な心電図の場合

「電気ショックが必要です。
充電しています。」

電気ショックが不要な心電図の場合

「体に触っても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を
始めてください。」

③ 放電ボタンを押します。



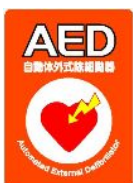
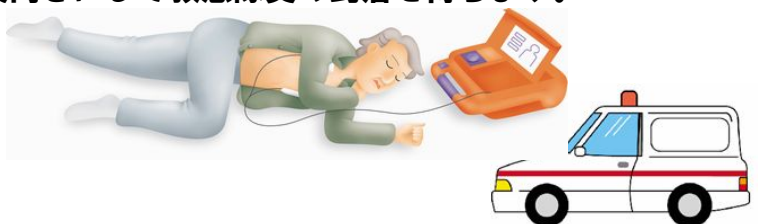
「体から離れてください。
点滅ボタンをしっかりと
押してください。」

「電気ショックを行いました。
体に触っても大丈夫です。
直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を
始めてください。」

胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を
交互に2分間行います。



普段どおりの呼吸が戻った場合は、身体を横向きにして救急隊員の到着を待ちます。
(電極パッドは付けたままにしてください。)



日本光電南関東株式会社
横浜民間マーケティンググループ

横浜市保土ヶ谷区神戸町134
TEL: 045-333-9205 FAX: 045-333-9206
AED専用フリーダイヤル: 0120-701-699

NIHON KOHDEN